

問 急行停車の計画は白紙なのか。

町長 副本線化を伴わない単独での急行停車というのは、今の八丁牟田駅の乗客数からすると困難と判断している。

しかし、当初、副本線化に基づき急行電車を八丁牟田駅に停めるとというのが大木の大きな要望でもあるので、西鉄の方とは再度協議をお願いしたいと思っている。

問 駐車場を平成18年10月に整備したが、乗客数は減少。今後の計画の進め方は。

町長 八丁牟田駅の利用を促進するとともに、周辺地域の活性化を図ることを目的に、西鉄八丁牟田駅利用促進協議会を立ち上げている。

具体的な事業としてパークアンドライド実証実験による駅前駐車場の整備を行っている。

今後の対策として、西鉄電

車を活用した「レールアンドハイク」や企画乗車券事業を計画。町では、近郊都市圏より交流人口増加策として自家用車や観光バス誘致のイベントとして、「観光いちご狩り」「アスパラきのこ狩り」「ひし狩り」等をアクアスとセツトにして企画運営してきたが、八丁牟田駅を活用した事業はできていない。

今回、西鉄事業本部旅客サービス課を訪問し、「西鉄タイアップきつぷ企画」として、全国2番目の「もったいない宣言の町」ウォークラリー大会の企画・提案をさせていた

だいている。

今後、幾つかの課題があるが、実現に向けて取り組みを進めていく。

問 西鉄八丁牟田駅利用促進協議会の組織、収支状況及び駐車場の動向について伺う。

企画調整課長

事業の

内容は、八丁牟田駅の乗降客の増加に繋がるよう八丁牟田駅前パークアンドライド駐車場の整備を行っている。

組織の構成は、大木町、西日本鉄道株式会社、大木町商工会、八丁牟田上行政区の各2名の代表8名で構成。また、顧問として、大川市と筑後市も参加している。

平成21年度の決算では、収

入総額が、413万959円、支出総額が、224万9878円、188万1878円が、次年度への繰り越しとなっている。

協議会収支状況

●収入の主なもの

- ・ 駐車料金
- ・ 前年度繰越金

●支出の主なもの

- ・ ゲート機器レンタル料
- ・ 警備委託料
- ・ 管理業務委託料

[駐車料金]

1日400円

西鉄電車利用者は

平日 300円(100円割引)

土、日、祝日 100円(300円割引)

Qパークアンドライドとは？

最寄り駅の駐車場に自動車を駐車し、公共交通機関に乗り換えて通勤など目的地に向かうシステム。

八丁牟田駅前パークアンドライド駐車場利用状況

年度	1日平均利用台数
18	10.2台
19	20.6
20	26.9
21	29.5

西鉄電車利用状況

年度	利用者数
4	2,089人
20	1,250(40%減少)



八丁牟田駅前パークアンドライド駐車場